

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)	
地域名 (地域内農業集落名)	豊成 ()	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月29日 (地権者耕作者アンケート結果 回答者214名)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手はいるが、全体的には高齢化が進んでいる。
- ・畑をやる人がいない

(2) 地域における農業の将来の在り方

--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地の売買や賃貸借により担い手への集積を検討する(49.3%) ・新規就農者や法人への貸付けできる人が多い(貸付け希望者のうち91.8%) ・10年後の地域農業を維持していくため、担い手に農地の集積を進める。 ・担い手への集積が進んでいるが、現状のままでは面積拡大は難しいのではないかな。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理機構を利用したくない(19.4%) ・農地中間管理機構が良くわからない(37.1%) ・農地中間管理機構を活用して農地の集積集約を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
・水利施設等の老朽化が進んでいる ・基盤整備事業を実施していない地域も多く、耕作し難い
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①鳥獣被害が増えている(ジャンボタニシ、アライグマなど)
 ⑦荒れている農地が増えているため、保全管理が必要
 ⑩農業用機械や燃料費が高騰している